

各館情報

くらしのやきもの

なまえ	ところ	でんわ
①三河天平の里資料館	豊川市八幡町忍地 127-1	0533-88-5881
②豊田市民芸館	豊田市平戸橋町波岩 86-100	0565-45-4039
③岩崎城歴史記念館	日進市岩崎町市場 67	0561-73-8825
④知多市歴史民俗博物館	知多市緑町 12-2	0562-33-1571
⑤幸田町郷土資料館	額田郡幸田町大字深溝字清水 36-1	0564-62-6682
⑥瀬戸蔵ミュージアム	瀬戸市蔵所町 1-1	0561-97-1190

みるやきもの

なまえ	ところ	でんわ
⑦とこなめ陶の森 陶芸研究所	常滑市奥条 7-22	0569-35-3970

いのりのやきもの

なまえ	ところ	でんわ
⑧東海市立平洲記念館・郷土資料館	東海市荒尾町蜂ヶ尻 67 番地	052-604-4141
⑨豊橋市美術博物館	豊橋市今橋町 3-1	0532-51-2882
⑩知立市歴史民俗資料館	知立市南新地 2 丁目 3-3	0566-83-1133
⑪愛知県陶磁美術館	瀬戸市南山口町 234	0561-84-7474
⑫豊田市郷土資料館	豊田市陣中町 1-21-2	0565-32-6561
⑬大府市歴史民俗資料館	大府市桃山町 5 丁目 180-1	0562-48-1809

※⑨豊橋市美術博物館は、展示替えのため8月29日(日)で終了となります。

たべるやきもの

なまえ	ところ	でんわ
⑭西尾市塩田体験館 吉良饗庭塩の里	西尾市吉良町白浜新田宮前 59-1	0563-32-3373
⑮半田市立博物館	半田市桐ヶ丘 4-209-1	0569-23-7173
⑯東浦町郷土資料館(うのはな館)	知多郡東浦町大字石浜字桜見台 18-4	0562-82-1188
⑰安城市埋蔵文化財センター	安城市安城町城堀 30 番地	0566-77-4477
⑱みよし市立歴史民俗資料館	みよし市三好町陣取山 44-1	0561-34-5000
⑲蒲郡市博物館	蒲郡市栄町 10-22	0533-68-1881



愛知やきもの歴史
公式 Facebook
最新情報を発信!

※愛知やきもの歴史 2021 に関するお問い合わせは、みよし市立歴史民俗資料館(担当:平井)、愛知県陶磁美術館(担当:大西)、とこなめ陶の森資料館(担当:小栗)にて承ります。

愛知やきもの歴史 2021

このやきものどう使ったの?



●くらしのやきもの
○みるやきもの
□いのりのやきもの
△たべるやきもの
どこからめぐって
みようかな?

自由研究にもおすすめ

あなたはどんな「やきもの歴史」に出会えるかな?
色いろなやきものをみて、しらべて、考えて、
自分なりにまとめてみよう!

※参加施設の詳しい情報は、ウラ面をご覧ください。
各館ごとに開館日、開館時間が異なります。
ご確認のうえ、お出かけください。

県内施設19館が参加!

令和3年7月17日(土)
~9月5日(日)



スタンプシールラリー開催!!

愛知県でつくられたやきものは、人びとの生活のなかで様々なことに使われました。やきもの「使いかた」をテーマに、県内各地のやきもの歴史を追いかけよう!
対象施設をめぐって、素敵なプレゼントをゲットしてね☆
スタンプシートは各館で配布しています。

3館賞
お好きな3館をめぐって、3つのシールをあつめると、「3館賞」をプレゼント! 賞品は、各館で用意しています。
賞品: クリアファイル、勾玉製作キット、展覧会招待券など、各館で異なります。
※賞品内容は、各館にお問い合わせください。

愛知のやきもの賞
今回の愛知やきもの歴史は、「やきもの使い方」をテーマにしています。各館では、「くらし」「いのり」「みる」「たべる」いずれかをテーマに、3つのブロックに分かれてやきものを展示しています。各館をめぐり、スタンプ(シール)を集めて、いずれかのブロックでパーフェクトを達成すると、「愛知のやきもの賞」をプレゼント!
賞品: 常滑窯の片口鉢セット(盛り皿・小鉢)
(抽選30名様、賞品は期間終了後、最寄りの館にてお渡しします。)

愛知のやきもの賞賞品
常滑窯の片口鉢セット

スタンプシートは
お1人様につき1枚で
お願いいたします。



くらしのやきもの

① 三河天平の里資料館	④ 知多市歴史民俗博物館
② 豊田市民芸館	⑤ 幸田町郷土資料館
③ 岩崎城歴史記念館	⑥ 瀬戸蔵ミュージアム

いのりのやきもの

③ 東海市立平洲記念館 郷土資料館	⑪ 愛知県陶磁美術館
⑨ 豊橋市美術博物館	⑫ 豊田市郷土資料館
⑩ 知立市歴史民俗資料館	⑬ 大府市 歴史民俗資料館

たべるやきもの

⑭ 西尾市塩田体験館 吉良饗庭塩の里	⑯ 東浦町郷土資料館 (うのはな館)
⑮ 半田市立博物館	⑰ 安城市 埋蔵文化財センター
⑱ 蒲郡市博物館	

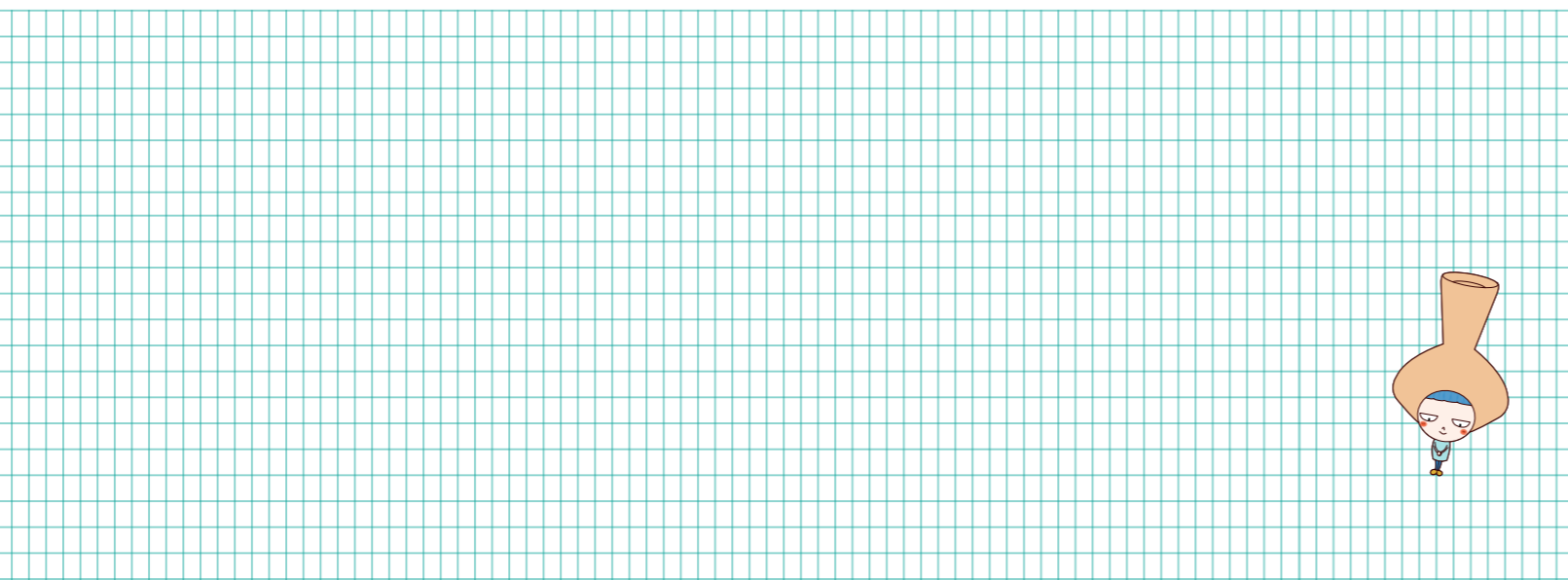
みるやきもの

⑦ となめ陶の森 陶芸研究所

シールをはってね!



- memo -



記念品交換チェック欄

3館賞 ※3つまで
おつかねまでございます

愛知のやきもの賞 誠にありがとうございます

- ぐらしのやきもの
- いのりのやきもの
- たべるやきもの

心から、感謝申し上げます



愛知のやきもの

縄文時代のやきもの

縄文時代には各地で地域色豊かな縄文土器が作られ、他の地域の土器の形や作り方に影響を与えていました。愛知県がある東海地方は、東は関東地方、西は関西地方、北は中部地方と北陸地方に接しているため、これらの地方の影響を受けた土器が多く見られます。縄文時代の東海地方では、日本列島各地の文化が行き交っていたことがわかります。

弥生時代のやきもの

紀元前4～3世紀（一説には紀元前10世紀）ころ、大陸から北部九州にコメ作りが伝わりました。これにより、日本は食物を獲る時代から作る時代へと変化しました。土器も、たくわえるための壺や炊く甕が多く作られ、他にも盛り付ける高坏や鉢が使われるようになりました。

古墳時代のやきもの

弥生土器を引き継ぐ土師器と、新たに朝鮮半島から技術が伝わった須恵器があります。土師器は各地で作られますが、須恵器はより高い温度で焼くための窯が必要で、製作地は限られます。新来の須恵器は様々な形を生み出し、装飾豊かなものも多くあります。古墳に並べられる埴輪は、筒形の他、家形や動物形、人形等が作られました。

古代のやきもの

古墳時代に伝わった須恵器は、その後もたくさん作られ、奈良時代になると愛知県は猿投窯をはじめとする、やきもの一大生産地となりました。さらに平安時代になると、淡緑色をした緑釉陶器や灰釉陶器といった高級な陶器を作るようになります。これらの陶器は、当時の都をはじめ全国各地に運ばれていきました。

中世のやきもの

平安時代後期から東海地方の各地で山茶碗の生産が行われました。鎌倉時代になると、山茶碗の生産をベースとして瀬戸窯で施釉陶器、常滑・渥美窯で壺・甕・鉢を主体とした焼締陶器の生産が開始されます。特に、瀬戸窯は国内で唯一の施釉陶器を生産した窯として有名で、常滑窯とともに中世を通して生産が行われていきました。

近世のやきもの

中世に引き続き、瀬戸窯・常滑窯が大きな産地です。瀬戸窯では筆で絵の描かれたやきものが盛んに作られますが、19世紀にはそれまでの陶器に加えて九州から磁器作りが伝わります。常滑窯では甕等の大物が主力ですが、19世紀には急須や茶道具等も作られ始めました。他に名古屋等、各地で様々なやきもの産地が生まれました。

近代のやきもの

明治時代以降、海外への輸出用陶磁器生産が大きく進展していきます。それと共に西洋からの新技術の導入、生産工程の工業化、鉄道網の整備や名古屋港の開港、貿易商社の集結といった、やきもの生産・流通・販売などの各方面で近代化されていきました。その一方で、陶芸という美術工芸の分野が芽生え、発展していきました。

むかし
5000
縄文
2500
1000
500
400代
300
弥生
200
100
紀元前
0
紀元後
100代
200
300
古墳
400
500
600代
700
奈良
800
900
平安
1000
1100
1200
鎌倉
1300
1400
戦国
1500
1600
江戸
1700
1800
1900
近代
2000
いま

